

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-11 □支援部門		女性センター運営事業						
主管課	人権・男女共同参画課	関連課							
分野名	男女共同参画社会								
目標 (目標値)	女性(男女共同参画)センターの整備について検討する。								
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考				
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	事業の対象者数								
	決算値(千円)	1,261	895	605					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	1,261	895	605					
	人員配置数	0.1	0.1	0.1					
	人件費(千円)	858	885	923					
事務事業 運営経費	協働の パートナー	アンサンプル21	アンサンプル21	アンサンプル21					
	総事業費(千円)	2,119	1,780	1,528					
	市民1人当 りの経費(円)	12	10	9					
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	三浦市		
	女性のため の総合的施設	3ヶ所	なし	なし	1ヶ所	1ヶ所	なし		
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。			②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。			④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)			⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止				
女性センター運営事業	1,261千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A □B ■C □D □E
	事業の概要	「アンサンプル鎌倉」(旧鈴木邸)をアンサンプル21の活動等の場として活用し、運営管理を行った。									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										

中事業の評価結果

<b>事業診断(課長評価)</b>	
H22年度の課題	男女共同参画推進の拠点となる女性(男女共同参画)センターの将来構想の検討
課題解決のための取組	「アンサンプル21」として活用している旧鈴木邸について関係課と協議した。男女共同参画の拠点施設の在り方についてプラン改定に合わせて方向付けをすることを部内、推進委員会などで協議した。
未解決の課題	男女共同参画推進の拠点となる女性(男女共同参画)センターの将来構想を明確にする。
今後の方針	男女共同参画事業における市民活動の充実・拡充や女性相談体制の環境整備が望まれているが、その拠点施設については、財政状況やニーズの変化などを考慮し、今後の公共施設の整備計画等を視野に入れて検討する。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ <b>C</b> ※ □事業完了 課長名 植地由美子

